

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【公開番号】特開2013-136568(P2013-136568A)

【公開日】平成25年7月11日 (2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2012-260928(P2012-260928)

【国際特許分類】

C 0 7 D 317/22 (2006.01)

C 0 9 K 19/54 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 317/22 C S P

C 0 9 K 19/54 B

G 0 2 F 1/13 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月9日 (2015.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

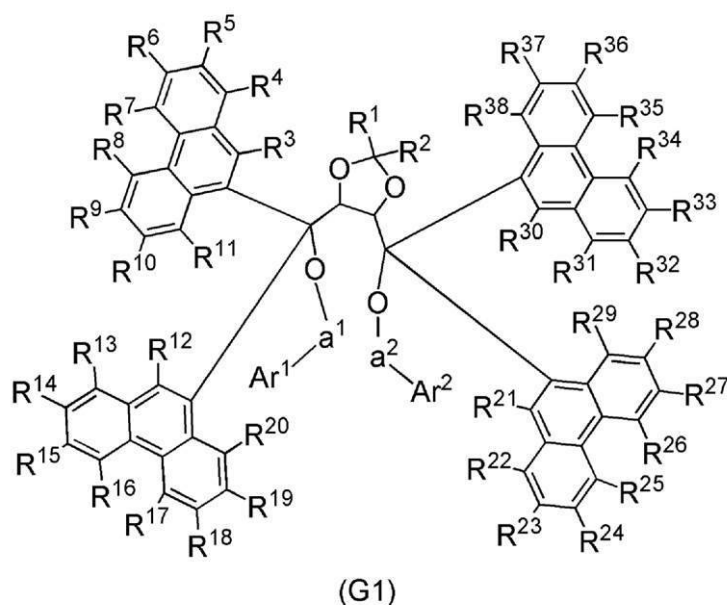
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (G 1) で表されるジオキソラン化合物。

【化 1】



(式 (G 1) 中、 R^1 及び R^2 は、互いに独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、炭素数 1 乃至 20 のアルコキシ基、炭素数 6 乃至 12 のアリール基、又はフェニル基を置換基として有する炭素数 1 乃至 20 のアルキル基を表し、 R^1 及び R^2 は互いに結合して環

を形成していてもよい。 a^1 及び a^2 は、互いに独立に、炭素数 1 乃至 4 のアルキレン基、又は単結合を表す。 Ar^1 及び Ar^2 は、互いに独立に、炭素数 6 乃至 16 のアリール基を表し、 R^3 乃至 R^8 は、それぞれ独立に水素、炭素数 1 乃至 4 のアルキル基、炭素数 1 乃至 4 のアルコキシ基、又は炭素数 6 乃至 12 のアリール基を表す。)

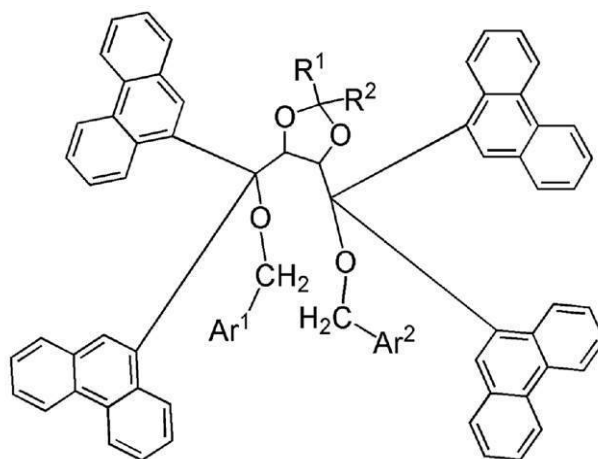
【請求項 2】

請求項 1 において、前記式 (G1) 中の、 a^1 及び a^2 がメチレン基であるジオキソラン化合物。

【請求項 3】

下記式 (G2) で表されるジオキソラン化合物。

【化 2】



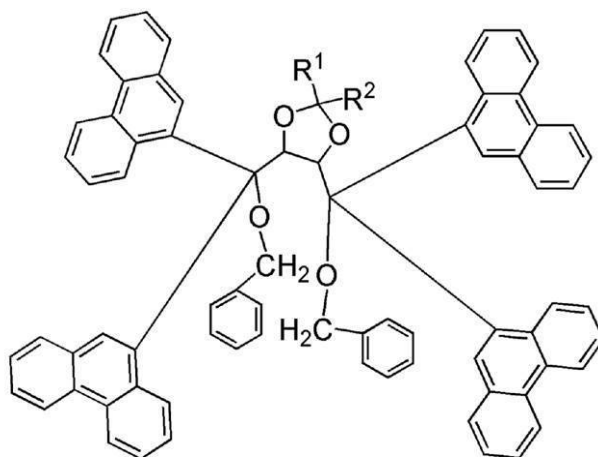
(G2)

(式 (G2) 中、 R^1 及び R^2 は、互いに独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、メトキシ基、又はフェニル基を表し、 R^1 及び R^2 は互いに結合してシクロヘキシル環を形成していてもよい。 Ar^1 及び Ar^2 は、互いに独立に、炭素数 6 乃至 16 のアリール基を表す。)

【請求項 4】

下記式 (G3) で表されるジオキソラン化合物。

【化 3】



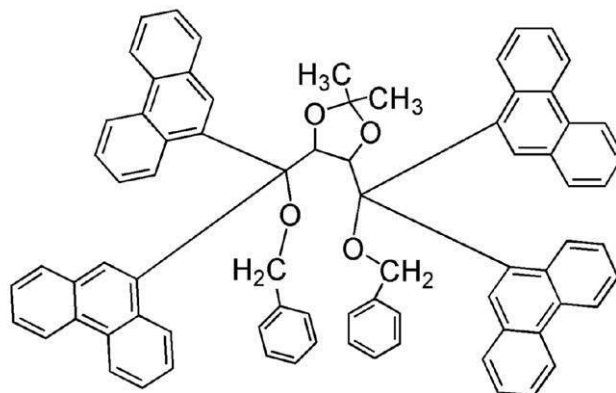
(G3)

(式 (G 3) 中、 R^1 及び R^2 は、互いに独立に水素、炭素数 1 乃至 6 のアルキル基、メトキシ基、又はフェニル基を表し、 R^1 及び R^2 は互いに結合してシクロヘキシル環を形成していてもよい。)

【請求項 5】

下記式 (101) で表されるジオキソラン化合物。

【化 4】



(101)

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載のジオキソラン化合物と、ネマチック液晶と、を含む液晶組成物。

【請求項 7】

請求項 6 において、前記ジオキソラン化合物が前記液晶組成物中に含まれる割合は 15 wt % 以下である液晶組成物。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載のジオキソラン化合物と、ネマチック液晶と、を含む液晶素子。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の液晶素子を有する液晶表示装置。